

# 出前講演を開催しています！

埋蔵文化財センターでは、鳥取県の考古学について広く情報発信するため、職員（文化財主事）が各地に出向き、「出前講演」を行っています。各種研修会や地域の歴史学習などでぜひご活用ください。

## ●テーマの一例紹介

### 「弥生の王国」鳥取のすがた

#### 〈概要〉

鳥取県には、青谷上寺地遺跡（鳥取市青谷町）と妻木晩田遺跡（米子市・大山町）という全国的にも著名な弥生時代の遺跡があります。講座では、この2つの遺跡を軸に約2千年前の鳥取の姿を、多くの写真を交えて分かりやすくお話しします。海辺や山や丘に広がる多様なムラの姿、保存状態や精巧な加工に驚く出土品、生々しい発掘調査の様子など、見どころはたくさん！郷土自慢のネタにいかがでしょうか。

## ●担当者からひとこと



文化財主事  
岡野 雅則

鳥取県では、地中に埋もれた約2千年前の鳥取の姿を「弥生の王国」と題して全国に情報発信すべく、調査・研究・普及活動に取り組んでいます。近年鳥取西道路の建設に伴う発掘調査で見つかった最新の情報もいち早くお届けします。

- 出前講演はホームページでもご案内しています。  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/28013.htm>
- 講演の実施に当たっては、次の点にご注意ください。
  - ・講師への謝金は不要です。（旅費については要相談）
  - ・会場の準備や会場使用料などの経費負担は、申込者にてお願いします。

## Book Reviews ブックレビュー

埋蔵文化財センターの販売図書の中から、おすすめの本を紹介します。  
※販売図書情報はホームページでもご案内しています。  
アドレス▶<http://www.pref.tottori.lg.jp/247252.htm>

### 青谷上寺地遺跡フォーラム

#### 弥生の至宝 ～花卉高杯とその背景～

#### 木製容器の最高傑作はいかに誕生し、いかなる意味を持ったのか？ 弥生時代の社会・文化の深層に迫る！



- A4判／本文38ページ／183g
- 価格：500円（送料：1冊の場合215円）

「地下の弥生博物館」の異名を持つ青谷上寺地遺跡からは、破片を含めておよそ1,000点を数える木製の容器が出土している。その中でも最高傑作と考えられるのが、「花卉高杯」と呼ばれる花卉文様が施された脚付きの台だ。

これほど精巧で優美な器の製作が青谷上寺地遺跡でなぜ可能だったのか。また、実際に人々に所有・使用される場面で、花卉高杯は政治的、社会的にどのような役割を果たしたのか。

花卉高杯という切り口から弥生時代の社会・文化の深層にまで迫る考古学ファン必読の1冊！

## 遺物紹介

# 青谷上寺地遺跡特集！

岡山県立博物館が鳥取県との交流事業として、展覧会「とっとり弥生の王国—青谷上寺地遺跡と妻木晩田遺跡—」（開催期間1月19日～2月26日／詳細はイベント情報欄へ）を開催するのにちなんで、今回はこの展覧会に出展される青谷上寺地遺跡の出土遺物から2点を紹介します。

## 1 星雲文鏡

中国・前漢で紀元前1世紀頃に作られた青銅鏡。5個の円形の突起とそれらを曲線で繋いだ文様が星座を連想させることから名づけられました。ほぼ正確な1/4の破片ですが、割れ口が磨かれていることから、意図的に割られた破片であっても大切にされたようです。弥生時代の星雲文鏡は全国で9例が知られていますが、8例は福岡県の王墓などから出土しており、唯一の本州出土例です。もしかしたら九州の王からの贈り物かもしれません。



## 2 花卉高杯



皿（杯）に脚のついた儀礼用と考えられる木製の器です。杯部の底面に、名の由来となった花びらを思わせる文様を持つほか、全体が赤く塗られ、杯部に

装飾された取っ手が付くなど美しく精巧な優品であり、この遺跡に腕利きの木工職人集団がいたことを示しています。青谷上寺地遺跡の他に石川県や島根県などの遺跡からも見つかっており、身分の高い人々向けのブランド品として生産され、日本海沿岸各地に運ばれたと考えられます。

## フェイスブックもご覧ください！

発掘調査のタイムリーな情報や、遺跡を活用した楽しい取り組みなどを紹介中ですので、ぜひご覧ください。

アドレス▶

（埋蔵文化財センター）

<https://www.facebook.com/tottorimaibun>

（青谷上寺地遺跡調査担当）

<https://www.facebook.com/yayoi.aoyakamijichi/>